

中施策評価書

作成日 令和05年 11月 14日

中施策事業名	スポーツ補助金事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	相羽 敏明
①めざすまちの姿	11 子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている		
②大施策	誰もが気軽に運動を楽しみ、健康に暮らせるまちをつくる		
③中施策	一緒に運動を楽しむ仲間を増やし、リーダーを育成する		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	気軽に運動ができるように、仲間に囲まれ、指導者にも恵まれている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・選手派遣補助事業(スポーツ協会・レク協会等) ・スポーツ協会(16団体)事務及び調整 ・レクリエーション協会(4団体)事務及び調整 ・スポーツクラブ事務局 ・ふれあい広場設置補助事業(2団体)		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
県大会以上への出場者数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	目標値	27	27	27	27	27	27
	実績値	21	23				
単位	人						
スポーツクラブ登録者数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	目標値	200	200	200	200	200	200
	実績値	244	248				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)			5,066千円	6,437千円	
人件費	a 事業費合計		5,066千円	6,437千円	6,776千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			5,066千円	6,437千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			74円	94円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A スポーツクラブ数の増加と、募集年齢枠を広げたことにより参加者が増え、目標の達成を継続できている。補助事業の周知と活用により、県大会以上に出場する市民が増えることを目指し、また、市民がスポーツを気軽に楽しむことができるよう、SNSを積極的に活用しながら幅広く周知していく。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	各団体の活動を様々な機会を通して周知し、参加者数の増加を目指す。また、市民が様々なスポーツの選択ができるよう、クラブ数の増加も目指していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	各助成団体相互の連携を支援し、市民が気軽に様々なスポーツに参加できる仕組みづくりを行っていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 11月 15日

中施策事業名	スポーツ振興事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	相羽 敏明
①めざすまちの姿	11 子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている		
②大施策	誰もが気軽に運動を楽しみ、健康に暮らせるまちをつくる		
③中施策	誰もが運動を楽しめる機会や場をつくる		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	誰もが楽しみながら運動に親しみ、健康的な生活を送っている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・豊明市スポーツ表彰事務 ・各団体競技の調整 ・スポーツ推進計画審議会(計画進行管理) ・市民歩け歩け運動 ・スポーツ講演会 ・市民レクリエーションスポーツ教室		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
スポーツ表彰対象者	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	目標値	68	68	68	68	68	68
	実績値	27	43				
単位	人						
市民スポーツ大会参加者数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	目標値	3,750	3,750	3,750	3,750	3,750	3,750
	実績値	1,274	1,307				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)			4,529千円	5,633千円	
人件費	a 事業費合計		4,529千円	5,633千円	8,074千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			4,529千円	5,633千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			66円	82円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>市民大会の開催、スポーツイベントの開催、スポーツ教室等の実施を行ったが、未だ新型コロナウイルス感染症の影響により中止や縮小となった事業があり、目標の達成には至らなかった。また、コロナの影響により市制50周年マラソン事業についても具体的な協議には至らなかった。</p> <p>第2期スポーツ推進計画の策定を行い豊明市におけるスポーツ振興についての指針をまとめた。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	第2期スポーツ推進計画に基づき、スポーツイベントやスポーツ教室について、SNSの活用やチラシの配布方法等を工夫し、参加者の増加に努める。部活動の地域移行に向けて、スポーツクラブでの受け入れや小中学生のニーズに沿ったスポーツクラブの活動ができるような仕組みづくりを検討する。また、デジタル技術を活用した事業を検討し、様々な世代が、気軽にスポーツに親しむ場を提供できるよう、関係部署と連携して事業を進めていく。市制50周年マラソン事業の開催に向け、開催方法等の検討と協議を行っていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	各事業を再評価しながら、だれでも気軽にスポーツに親しむことができるよう事業の見直しや充実を図っていく。部活動廃止後の小中学生のスポーツ活動が継続できる事業を行っていく。また、第2期スポーツ推進計画に基づき、各課や団体が指針に沿って事業が行えるよう導いていく。市制50周年マラソン事業を実施する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 8月 17日

中施策事業名	体育施設維持管理運営事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	相羽 敏明
①めざすまちの姿	11 子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている		
②大施策	誰もが気軽に運動を楽しみ、健康に暮らせるまちをつくる		
③中施策	誰もが運動を楽しめる機会や場をつくる		
④中施策事業の対象	施設利用者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	健康的な生活を送るため、快適な環境で運動に親しんでいる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・施設に係る修繕工事等 ・用地借地契約 ・体育施設利用調査、調整事務(優先団体使用・グラウンド・テニスコート) ・行政財産目的外使用料算定、許可 ・指定管理(委員会) ・備品台帳の整理		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
福祉体育館及び体育施設等の利用者数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	目標値	217,400	217,400	217,400	217,400	217,400	217,400
	実績値	199,333	201,134				
単位	人						
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		85,335千円	138,043千円		
人件費	a 事業費合計	85,335千円	138,043千円	134,670千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		85,335千円	138,043千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		1,240円	2,006円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、人数制限や利用自粛等があったため利用人数が大きく増えることはなかった。コストは指定管理料が大部分を占めており、おおむね妥当と判断している。令和5年度の指定管理者更新に向けてサウンディング調査を行い、公募の仕様について検討した。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	必要に応じて施設の修繕は行っており、今年度は柔道場畳取替えを予定しているが、魅力を向上させる程の改修には至っていない。市民ニーズを調査しながら、安全、快適に利用できるような改修を行う。また、指定管理の更新時には老人センターを含めた募集を行い、様々な世代がスポーツに親しめる場を提供できるような事業者を選定する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	指定管理者のモニタリング等を活用し、事業の見直しや新規事業の実施を積極的に行い、施設の魅力を向上させていく。また、長寿命化改修等の実施に向け、サウンディング調査や関係課との協議を行っていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 11月 15日

中施策事業名	公民館管理運営事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	相羽 敏明
①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができている		
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる		
③中施策	多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	それぞれの教養を高めながら活発に交流している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館サークル ・ 公民館まつり ・ 公民館の運営及び運営審議会、公民館連合会 ・ 公民館講座等 		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
南部公民館利用件数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	目標値	0	6,000	30,000	30,000	30,000	30,000
	実績値	0	11,775				
単位	人						
公民館講座等参加者数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	目標値	0	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
	実績値	0	22,906				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		24,398千円	21,063千円		
a	事業費合計	24,398千円	21,063千円	78,903千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		741千円	292千円	360千円	
③ コスト(①-②)		23,657千円	20,771千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		344円	302円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価「B」 令和4年度はリニューアル工事が延期となり、コロナワクチンの接種会場となったため大幅な利用増とはならなかった。公民館講座では市制50周年記念事業で陶芸教室を開催し、またとよあけ市民大学「ひまわり」による講座を200講座以上開催した。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	リニューアル工事後は若い世代に利用しやすい施設となるよう、wi-fiを通しインターネット環境を整える。また時間帯によっては作法室などを親子の読み聞かせなどに利用してもらいなど運用方法を検討する余地がある。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	リニューアル工事後は南部公民館の情報発信をSNS重点的に利用するなど市民の人に親しんでもらえるような施設となるよう広報活動に力をいれる必要がある。駅に近い立地条件なので、ビジネスマン向けの本が多数並ぶよう図書館と連携を深めたい。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 11月 15日

中施策事業名	文化広場管理事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	相羽 敏明
①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができている		
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる		
③中施策	多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる		
④中施策事業の対象	施設利用者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	多様な人が、健康で文化的素養を相互に高めている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 勅使会館の管理、運営及び支払いに関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
勅使会館の利用人数(和室)	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	目標値	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300
	実績値	2,079	1,386				
単位	人						
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		5,013千円	4,698千円		
人件費	a 事業費合計	5,013千円	4,698千円	5,223千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		43千円	44千円	42千円	
③ コスト(①-②)		4,970千円	4,654千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		72円	68円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価「B」</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、デイキャンプ場の閉鎖、宿泊ができないなど一部利用に制限を設けたため、目標値に達成できなかった。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	令和4年度末からデイキャンプ場、宿泊が再開できるようになったので、引き続き施設の周知に努める。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	新型コロナウイルス感染の流行度合いを鑑みながら、デイキャンプ場などを利用したイベントを指定管理者とともに計画し、利用者数増加に努めていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 4月 25日

中施策事業名	青少年対策事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	相羽 敏明
①めざすまちの姿	17 子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している		
②大施策	子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動できるまちをつくる		
③中施策	地域ぐるみで子どもを育て、見守る環境をつくる		
④中施策事業の対象	市内小中学生及び地域の人たち		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	小中学生が、それぞれの地域で、地域の人たちに支えられ、生き生きと暮らしている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・青少年健全育成地区連絡協議会及び家庭教育推進協議会・青少年健全育成推進員・二十歳の会に関すること・家庭教育学級に関すること・民踊講習会及び子どもフェスティバル		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
放課後子ども教室 登録児童数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	目標値	320	0	0	0	0	0
	実績値	438	0				
単位	人						
親子ふれあい事業 参加数(陶芸のみ)	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	目標値	0	100	100	100	100	100
	実績値	0	107				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)			55,922千円	5,422千円	
人件費	a 事業費合計		55,922千円	5,422千円	5,525千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			14,126千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			41,796千円	5,422千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			607円	79円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

<p>上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析</p>	<p>総合評価「A」 令和4年から放課後子ども教室を学校教育課へ移管したため、評価指標が変更となった。市民大学ひまわりに陶芸教室を委託したことにより日曜日開催が可能となり、親子での参加が増えた。また公民館講座も親子で参加できる講座を増やしたことにより親子のふれあい機会を増やすことができた。</p>
------------------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	南部公民館リニューアルしたあとに、親子で参加ができる講座を充実させたい。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	いろいろな講座の充実をはかり親子のふれあう機会を探っていきたい。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 11月 15日

中施策事業名	社会教育活動事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	相羽 敏明
①めざすまちの姿	17 子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している		
②大施策	子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動できるまちをつくる		
③中施策	地域活動を活発にする		
④中施策事業の対象	市内小中学生		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	小中学生が、地域の人たちに支えられ、活発に活動している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・人権教育 ・社会教育委員会 ・情報誌の発行HPの運営 ・市P連 ・女性の会補助金・文化系ジュニアクラブ (CJC)		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
文科系ジュニアクラブ数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	目標値	7	7	7	7	7	7
	実績値	5	6				
単位	クラブ数						
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		5,117千円	4,671千円		
人件費	a 事業費合計	5,117千円	4,671千円	5,550千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		5,117千円	4,671千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		74円	68円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価「B」</p> <p>地域の人と子どもとの関わりがあり、つながりをつくる役割を果たしている。令和4年度から1クラブ増えたので、参加者数を増やすことができた。</p>
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	各地区での学校を利用した活動がセキュリティの面から難しくなっている。カラットに集約されてつつあるので、送迎ができない保護者の子どもは参加がしにくい。またクラブ数増加を目指して、公民館講座などできっかけづくりを行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	活動場所について拡大を図り、参加者数を増やしていきたい。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 11月 15日

中施策事業名	文化会館管理運営事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	相羽 敏明
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	市内外の人がとよあけの魅力を楽しめる環境をつくる		
④中施策事業の対象	施設利用者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	文化的素養を育み、文化、芸術を発信している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・施設に係る修繕工事等 ・指定管理 ・会館の財産等 ・公立文化施設協会(施設損害賠償保険含まず)		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
利用者数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	目標値	137,500	137,500	137,500	151,200	151,200	151,200
	実績値	104,521	113,203				
単位	人						
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		147,060千円	104,155千円		
人件費	a 事業費合計	147,060千円	104,155千円	100,921千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		147,060千円	104,155千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		2,137円	1,514円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>指定管理料で行う事業が大部分であり、光熱費高騰の影響は受けているもののモニタリングを通しておおむね妥当と判断している。</p> <p>指定管理者の更新において、モニタリング調査の結果を仕様反映して募集を行った。</p>
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	指定管理者が愛知県舞台運営事業協同組合から(株)ケイミックスパブリックビジネスに変更となり、新規事業の実施が見込まれる。モニタリングを利用して分析を行い、空きスペースの活用等、より魅力ある施設となるよう検討していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	舞台装置や空調をはじめとする施設の大規模改修に向けて改修内容や利用内容の調整等を行い、市民がより安全に、快適に利用できる魅力ある施設となるよう改修していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 8月 17日

中施策事業名	文化財保護事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	相羽 敏明
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	地域の歴史・伝統・文化を正しく認識し、愛着をもって継承している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ナガバノイシモチソウ ・大狭間湿地 ・市文化財の保護、保存及び補助金 ・市文化財の保護、保存及び補助金の申請及び交付 ・文化財保護委員会 ・文化財の維持管理 ・埋蔵文化財の調査、実測及び台帳への登録		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
一般公開見学者数 (ナガバノイシモチソウ)	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	目標値	560	570	580	590	600	610
	実績値	526	759				
単位	人						
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		9,965千円	10,330千円		
人件費	a 事業費合計	9,965千円	10,330千円	9,229千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		9,965千円	10,330千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		145円	150円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 天候にも恵まれ、また新型コロナウイルス感染症の影響により休止していた高校生のボランティアが戻ったこともあり、目標を達成することができた。歴史民俗資料室がリニューアルオープンし、ワークショップや講座も行い、多くの市民が来場した。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	歴史民俗資料室において、ワークショップや講座を充実させ、様々な年代の市民がとよあけの歴史や自然に関心を持ち、継承していけるような環境を整えていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	歴史民俗資料室の展示やワークショップ等を工夫していくことで、幅広い年代の方がとよあけの歴史や自然に親しみ、誇りを持てるようにする。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 8月 17日

中施策事業名	市史編さん事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	相羽 敏明
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	地域の歴史・伝統・文化を正しく理解している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・市史の編さん及び編さん委員会 ・市史新規資料の受け入れ ・広報「とよあけの自然」、「市史だより」 ・愛知県市史整備市町村協議会 ・歴史民族資料の収集及び資料室 ・歴史民族資料調査研究会 ・史跡ガイド		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
市史販売数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	目標値	20	20	20	20	20	20
	実績値	14	12				
単位	冊						
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)			16,099千円	2,967千円	
人件費	a 事業費合計		16,099千円	2,967千円	3,607千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			16,099千円	2,967千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			234円	43円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 歴史民俗資料室のリニューアルオープンに伴い、国指定史跡桶狭間古戦場伝説地に関する展示やワークショップ、市制50周年記念とよあけ文化検定を行い、市民がとよあけの歴史に親しむ場を提供することができた。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	歴史民俗資料室において今後も展示やイベントを市民のニーズ調査をしながら幅広い年代が参加できるような内容で実施していく等の工夫を行い、市民がとよあけの歴史に親しむ場を提供していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	民俗資料を利用し、昔の遊びや回想法を取り入れたワークショップを行う等、様々な世代が魅力を感じられるような施設を目指す。そのためには専門知識を持った学芸員の採用も検討していく必要がある。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 11月 15日

中施策事業名	陶芸の館管理事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	相羽 敏明
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	かつての陶芸産地であった歴史的経緯を理解し、現在も文化を継承するとともに発信し続けている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・陶芸教室 ・陶芸の館の管理、運営及び支払い		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
陶芸の館利用者数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	目標値	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600
	実績値	958	1,113				
単位	人						
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		1,639千円	3,567千円		
人件費	a 事業費合計	1,639千円	3,567千円	2,426千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		159千円	192千円	184千円	
③ コスト(①-②)		1,480千円	3,375千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		22円	49円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価「B」 市民大学ひまわりに委託したことにより陶芸教室の日曜日開催が可能となった。それにより、親子で陶芸教室に参加の家族が増え、陶芸に親しんでもらえるきっかけづくりができた。また施設については修繕箇所を順番に修理することができた。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	はじめて陶芸を行う人用のコースしか現在は行っていないが、中級、上級などコースを充実させたい。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	愛知県陶磁美術館の学芸員の方や瀬戸窯業高校出身の講師の方を中心に講座の内容を充実させ、子どもから大人まで幅広い層に施設を利用してもらえるような講座内容を開催していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 4月 10日

中施策事業名	市民文化育成事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	相羽 敏明
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する		
④中施策事業の対象	市内在住・在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	世代や分野を問わず、文化的な素養を高め、発信し続けている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・文化協会等の団体育成及び指導		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
市民文化講座等の 参加者数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	目標値	1,750	1,800	1,800	1,850	1,900	1,900
	実績値	1,303	1,447				
単位	人						
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		972千円	1,172千円		
a	事業費合計	972千円	1,172千円	972千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		972千円	1,172千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		14円	17円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	指標の内容を見直す必要がある	△	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、市制50周年として事業を拡大したことにより、参加者数は増えた。評価指標については受託事業であるため、指定管理者と事業内容を協議していく。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	事業の参加団体の増加を目指し、周知方法や開催方法を工夫していく。また指定管理者と協議し、アンケート等の分析結果を反映し、参加者のニーズに合った事業の実施を検討していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	市内の文化活動団体の活動やイベントを発信する方法を工夫し、より多くの市民が参加できる事業を展開する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等